
臨時赤潮情報（赤潮警報続報No.1）

鹿児島県水産技術開発センター
平成 17 年 8 月 2 日

八代海赤潮警報続報No.1

[1] 8月1日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

8月1日午後に東町漁協と共同で調査を行った結果、全調査点でシャトネラ アンティーカーが確認されました。また、獅子島湯ノ口沖でコックロディニウム ポリクイコイデスとシャトネラ アンティーカーによる着色域が確認されました。

(2) 海況

表層水温は調査海域で25.2～27.3℃で平年同時期より低め、塩分は30.7～32.8で平年同時期並となっています。

水温：平均 26.3℃ (27.3℃)

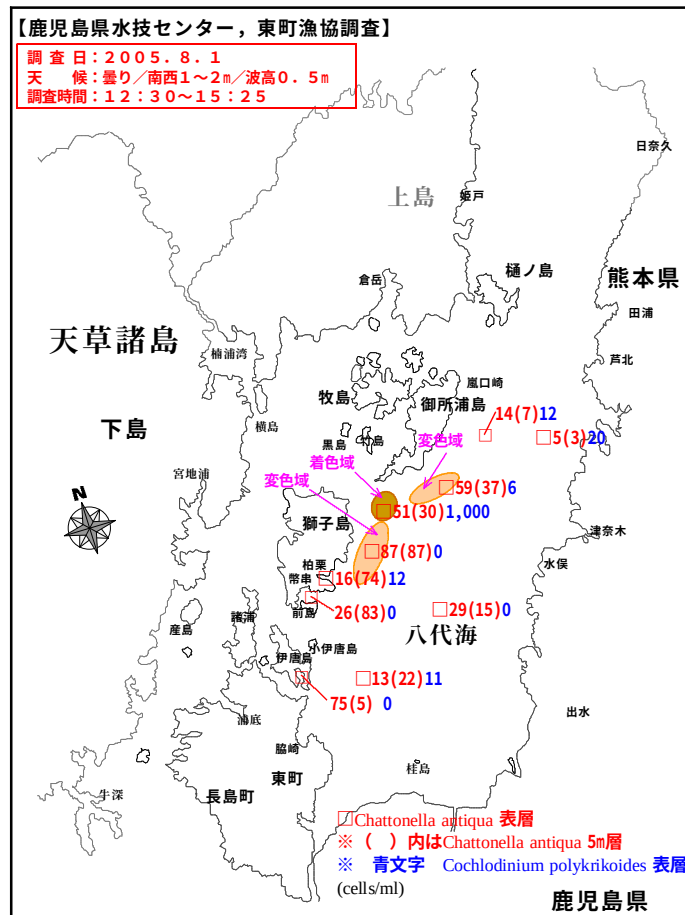
塩分：平均 31.6 (31.5)

()はH元～H16年8月の平均値（同平年値）

[2] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査結果により、シャトネラ アンティーカーについては、八代海全域に広がっているものと思われます。東町漁協の調査でも東町全域でシャトネラ アンティーカーが確認され、細胞数も最低致死濃度の30～50cells/mlを超えている状態が継続しています。週末の降雨で、陸域からの栄養塩類の供給がされていると思われます。今後、好天が続くと、さらに、細胞数が増加することが考えられますので、引き続き検鏡による細胞数の把握（表層～中層）を行うなど厳重な警戒の継続が必要です。

また、コックロディニウム ポリクイコイデスが獅子島湯ノ口沖で最高1,000cells/ml確認され、その他の調査点でも確認されています。本種は高水温（27～28℃）・高塩分（32～33）を好むことが知られています。今回の調査では平均塩分が31.6でしたが、今後、晴天が続き塩分濃度が上昇すれば、本種が増加することが考えられますので、本種についても同様に警戒が必要と思われます。



赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>